

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和元年7月31日

島根県知事 殿



提出者

住 所 島根県出雲市塩冶町89-1
 氏 名 国立大学法人島根大学医学部
 医学部長 並 河 徹

電話番号 0853-23-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、平成30年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	国立大学法人島根大学医学部
事業場の所在地	島根県出雲市塩冶町89-1
事業の種類	大学, 一般病院
特別管理産業廃棄物処理計画における期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	103.837t	全処理委託量	105.789t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	0.726t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	88.048t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 感染性産業廃棄物)

有機物量	
------	--

不要物等発生量	
---------	--

自ら直接 再生利用した量	②	0
自ら直接理立処分又は 海洋投入処分した量	③	0

排出量	①	367.680
-----	---	---------

項目	実績値	
①排出量	367.680	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	111.443	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑩全処理委託量	256.237	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	256.237	
⑫再生利用業者への処理委託量	0	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行ふ業者への処理委託量	0.000	

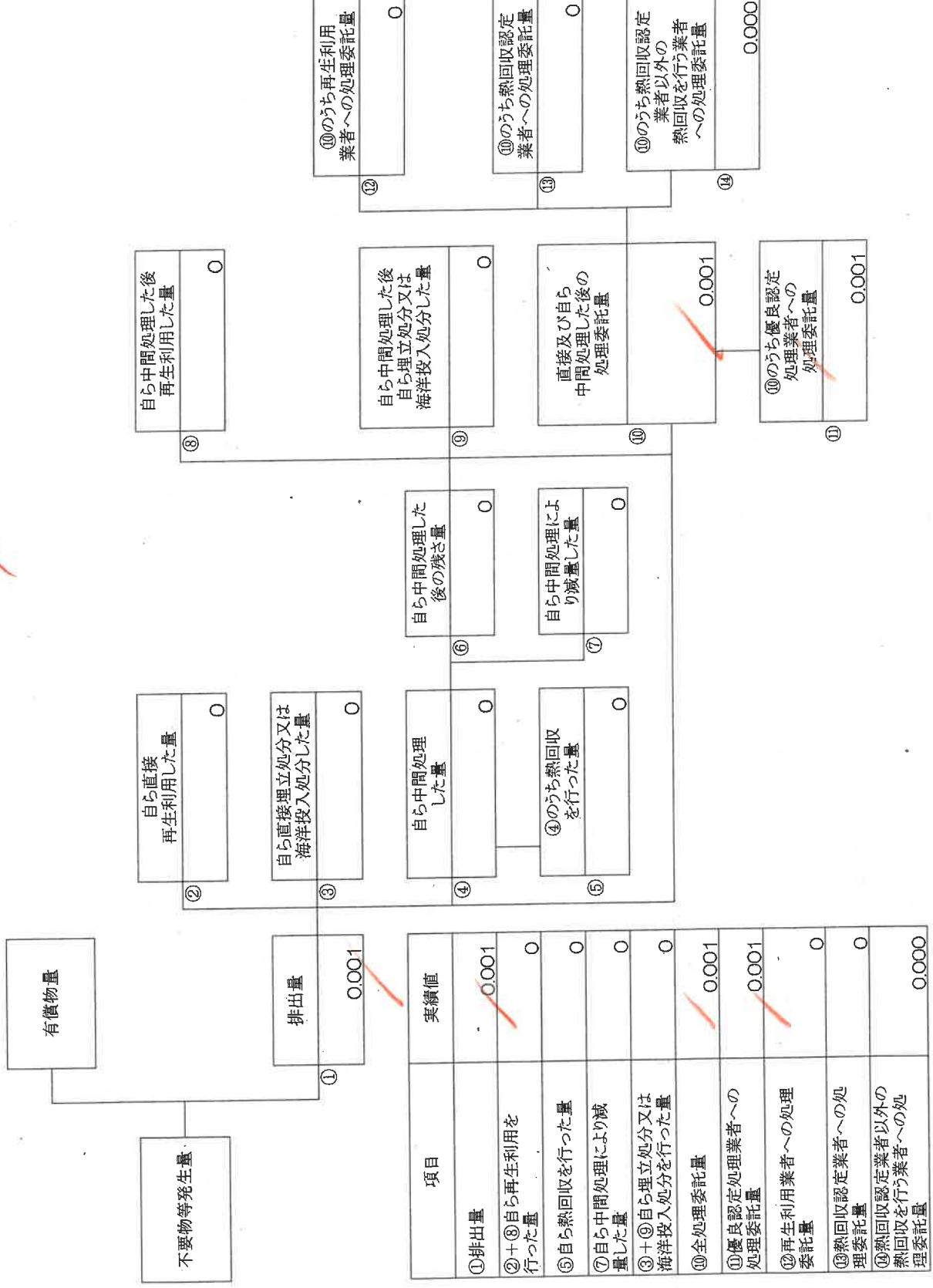
自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧	0
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨	0
自ら中間処理した後 自ら中間処理した量 後の残さ量	⑥	12.253
④のうち熱回収 を行った量	⑦	111.443
自ら中間処理によ り減量した量	⑤	0
直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩	256.237
⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行ふ業者 への処理委託量	⑫	0.000
⑭のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑬	256.237

(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：有機性汚泥)

1



(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃油)

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接 再生利用した量

項目	実績値	自ら中間処理 した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理によ り減量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	1.710
①排出量	1.710	0	0	0	0	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0	0	0	0	0
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	0	0	0	0
⑩全処理委託量	1.710	1.710	0	0	0	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.710	1.710	0	0	0	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
⑮のうち再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
⑯のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
⑰のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.710	1.710	0	0	0	0

(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃酸)



①	排出量	0.503
---	-----	-------

②	自ら直接 再生利用した量	0
---	-----------------	---

③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
---	-------------------------	---

④	自ら中間処理した後 再生利用した量	0
---	----------------------	---

項目	実績値	
①排出量	0.503	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑩全処理委託量	0.503	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.503	
⑫再生利用業者への処理委託量	0	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	

①	0.503	②	0	③	0	④	0	⑤	0	⑥	0	⑦	0	⑧	0	⑨	0	⑩	0.503	⑪	0.503	⑫	0	⑬	0	⑭	0.000
⑮	0	⑯	0	⑰	0	⑱	0	⑲	0	⑳	0	㉑	0	㉒	0	㉓	0	㉔	0	㉕	0	㉖	0	㉗	0	㉘	0
㉙	0	㉚	0	㉛	0	㉜	0	㉝	0	㉞	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0
㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0
㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0	㉟	0

(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 廃アルカリ)

有償物量	
------	--

不要物等発生量	
---------	--

自ら直接 再生利用した量	② 0
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③ 0

排出量	① 0.596
-----	------------

項目	実績値	
①排出量	0.596	②+⑧自ら再生利用を行った量
⑤自ら熱回収を行った量	0	⑥自ら中間処理した量
⑦自ら中間処理により減量した量	0	④のうち熱回収を行った量
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0	⑦自ら中間処理により減量した量
⑩全処理委託量	0.596	⑪優良認定処理業者への 処理委託量
⑫再生利用業者への処 理委託量	0	⑬熱回収認定業者への処 理委託量
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.000	⑮熱回収認定業者への処 理委託量

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧ 0	⑪のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 0
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③ 0	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨ 0
自ら中間処理 した量	④ 0	自ら中間処理した後 の残さ量	⑤ 0
④のうち熱回 取を行った量	0	自ら中間処理によ り減量した量	⑦ 0
⑤自ら埋立処分を行った量	0	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩ 0.596
⑦自ら中間処理により減 量した量	0	⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑯ 0.000
⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0	⑫のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑰ 0.596
⑩全処理委託量	0.596	⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処 理委託量	0	⑮熱回収認定業者への処 理委託量	0.596

(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃石綿等)

有償物量

不要物等発生量

②	自ら直接 再生利用した量	0
③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	0

①	排出量	0.000
④	自ら中間処理 した量	0

項目	実績値	
①排出量	0.000	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑩全処理委託量	0.000	
⑪優良認定業者への処理委託量	0.000	
⑫再生利用業者への処理委託量	0	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	

②	自ら中間処理した後 再生利用した量	0
③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	0

④	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
⑤	④のうち熱回収 を行った量	0
⑥	自ら中間処理した 後の残さ量	0
⑦	自ら中間処理によ り減量した量	0
⑧	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	0
⑨	自ら中間処理した後 再生利用した量	0
⑩	0.000	
⑪	⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000
⑫	⑫のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	0.000

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。